

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名

福岡県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	久留米市立牟田山中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	6	1	17	32
生徒数	186	186	201	5	578	

研究の概要

1. 研究主題

「生きた学力」  
～基礎・基本の充実を支える3つの視点を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・1年生・数学・国語・英語  
生徒の理解の状況に差が出やすい教科，学年であるため。
- ・2年生・理科・社会・英語  
学校として，当該教科に関する研究実績があるため

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ： やる気・根気・思いやりの3つの視点に立った習熟度別コース学習の定着</p> <p>研究の見通し： 各教科において，3つの視点（やる気・根気・思いやり）を意識した授業を継続的に設定すれば，生徒一人一人が各教科の基礎・基本を着実に理解できるようになり，自ら進んで探求したり，表現したりするようになるので，生きた学力を身につけることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法： 基礎・基本の確実な定着を図るために，生徒一人一人に対してきめ細やかな指導を行う。具体的には，各教科で少人数やチームティーチングなどの授業形態の工夫，発展コースと補充コースとに分かれての習熟度別学習を推進する。授業展開としては，昨年度から引き続いて活動主題（学習テーマ）を設定し，問題解決的な学習課程を取り入れる。その際，二次の「探求」段階か三次の「発展」段階で，補充的教材と発展的教材を設定する。教科論を確立し，現状の分析を的確に行う。</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ： 診断的評価・形成的評価・総括的評価を位置づけた授業展開の定着</p> <p>研究の見通し： 各教科において，診断的・形成的・総括的評価を位置づけた授業を継続的に設定すれば，生徒一人一人が各単元の中で，自分の理解できている点と理解できていない点を把握できるようになり，自ら進んで探求したり，考えたりするようになるので，生きた学力を身につけることができるであろう。教科の授業のみでなく，教育活動全体で「生きた学力」をつける。</p> <p>研究の内容・方法： 各教科の評価補助簿の完成と全教師による授業研を実施する。具体的には，評価補助簿については，名簿型補助簿や</p>
--------	--

座席表型補助簿などを作成し、各教科で使いやすい評価補助簿を検討する。全教師による授業研は、年度当初に2回の校内授業研・公開授業研・実践交流会で授業を行う担当教科と教師を決め、それぞれの授業研が研究主題に沿って系統的に実施されるようにする。

(3) 研究推進体制

校長 ⇄ 教頭 ⇄ 研究部 ⇄ 教科部会 ⇄ 全体会

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

全教科の教科論を作成し、各教科において全生徒への定着をめざす基礎・基本を明確にすることができた。  
 各教科の1年間を通した単元構成を体系立てて考えることができた。  
 評価規準を明確にした指導案を作成し、授業研を行うことができた。  
 情意面でのアンケートを6月と11月に実施したところ、次の3項目について伸びが見られた。(数字は4段階自己評価尺度) 「自分に自信が持てますか」2.4 2.6 「学習でわかったことやできるようになったことを自分の生活に生かしていますか」2.5 2.7 「自分のことや自分が知っていることを他の人に上手に伝えることができますか」2.6 2.9  
 基礎・基本の定着に対しての教師の意識づけができた。  
 授業の中で補充・発展の取り組みの方向性が見えてきた。

2. 今後の課題

(学校として)

学力向上フロンティアスクールとして研修を進めていく上での職員の共通理解を深める。

・研究推進委員会の構成の見直し

・研修会で活発に意見が出るための工夫

牟田山アンケート(情意面)での低下の原因を究明する。

学力の実態調査を行い、その変化を検証していく必要がある。

次年度実践交流会への参加体制作りをする。

(授業)

単元計画の中で、診断的評価・形成的評価・総括的評価を位置づける。

本時の主眼と授業仮説との整合性が必要である。

学力把握のための学校としての取組

情意面では「牟田山アンケート」を6月と11月に実施し、その変容を公開している。

学力面では、数学は教師作成のテストを、英語は英検5級の問題を使って、4月と12月に実施し、個人の学力の変容を追っている。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究推進委員会 毎週火曜日2時間目

学力向上フロンティアスクール事業公開授業研究会 数学・英語 (本校にて)

総論・教科論・指導案についての要項を作成 6月30日

校内研修会「学習指導の改善をめざす目標に準拠した評価のあり方」

講師：松枝指導主事(北筑後教育事務所) 8月8日

学力向上フロンティアスクール実践交流会 指導案審議(本校にて)

指導主事及び専門委員招聘 11月21日

学力向上フロンティアスクール実践交流会 (本校にて)

指導主事及び専門委員招聘 12月1日

校内授業研 体育(6月・10月)

英語(9月)・数学(10月) (本校にて)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】             15年度からの新規校             14年度からの継続校
- 【学校規模】                     3学級以下                     4～6学級  
 7～9学級                     10～12学級  
                                   13～15学級                     16学級以上
- 【指導体制】                     少人数指導                     T.Tによる指導  
 その他
- 【研究教科】                     国語                     社会                     数学                     理科  
                                   外国語                     音楽                     美術                     技術・家庭  
 保健体育                     その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】            有             無